

あるってくるぶニュース

NO. 17 00. 6. 6

『あるってくるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで非営利組織の『あるってくるぶ』(Arte club) の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。今回、発行が遅くなりましたことをお詫びいたします。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・

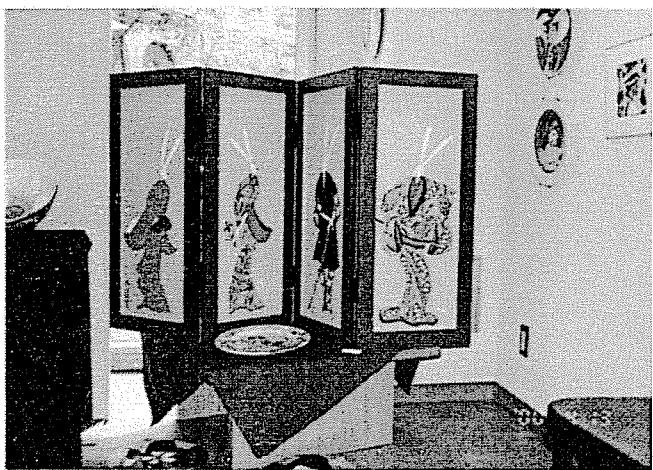
どなたでも参加できますが、会員には特典があります。

あるってくるぶ ギャラリー

—活動のご報告—

◇バルーチャ美知子展 『ポタリーペインティング』
4月14日～23日
バルーチャ美知子さんは、わたし達に呼びかけていました。「もっと、アートを生活の中で気軽に楽しみませんか」「発想の原点は、わたし達の身近に、目の前のテーブルの花瓶、植木鉢、そして夢想のなかに」

パネル、屏風作品以外は、素焼きの白い陶器（ビスク）に専用釉薬（グレーズ）で絵付けをした、“the Pottery” 「ポタリーペインティング」 毎日使うものだからこそ、毎日目にするものだからこそ 素敵な器で、こだわりの品々で、生活空間を演出したい。 色がきれい、色っぽい、鮮やか、おしゃれ、東洋の香りに満ち溢れた、アルテクラブ週間でした。



—これからのスケジュール—

◆2000年 アルテクラブ企画展

・金土日開廊・三番ギャラリー
小澤一雄の allegro 展 2000in 川越『カリカチュア』
6月23日～7月2日 12:00～19:00
オープニングパーティー 22日（木）17:30より
♪・リコーダーの演奏があります。

★作家プロフィール

8年間のサラリーマン生活からイラストレーターを経て漫画家に。クラシック、ジャズ、民族音楽、など音楽物を得意とする。古典落語、プロ野球、プロレス、演劇、古本屋、居酒屋、お祭り、縁日などをこよなく愛す。

- ・パリ、ローマ、ニューヨーク、ソウル、東京で作品を発表。
- ・新聞、雑誌、ファンシーグッズキャラクター、広告などに幅広く活躍中。
- ・'93～'96 朝日新聞日曜版、漫画「サンデーコンサート」これにより'95年度第24回日本漫画家協会賞大賞受賞
- ・JRスキーキャンペーン「ピンクゴリラ」
- ・現在 日経新聞日曜版「アレグロ音楽帖」、東京新聞「海外メディア」、「和田 勉ガハハ交遊録」などにイラスト連載中。

管懷賛展『インスタレーション』 7月 7日～16日
オープニングパーティー 7月6日（木）17:30より

★作家プロフィール

'61中国江蘇省生まれ／'89中国美術大学卒／'93来日'98埼玉大学大学院終了。東京芸術大学大学院研修生／中国現代作家二人展（'96所沢Muse）／アジア現代美術展（東京パンコク）／管懷賛展（'97'98埼玉近美）／C・A・F展（'97'98埼玉近美）／Walking Museum（'98新宿タカシマヤタイムズスクエア）／管懷賛（'99同和火災アートギャラリー）／野外展（'99仙川プラザ・ギャラリー）／第2回 FUJINO国際アートシンポジウム（'99神奈川・藤野町）

田部井 健二展『陶・土の詩・火の詩』 7月 21日～30日
オープニングパーティー 7月20日（木）17:30より

★作家プロフィール

昭和 9年 群馬県館林市に生まれる。
昭和32年 早稲田大学卒業
昭和33年 岐阜県陶磁器試験場に勤務
昭和35年 パキスタンにて製陶指導・原始仏教を研鑽
昭和42年 「創陶苑」を創設
昭和50年 養老山奥に居を移す
昭和57年 養老焼陶村を作り加わる
昭和63年 沖縄県名護市に陶房を作る

別府 博文展『彫刻』 9月 15日～24日

本山あかね展『陶器』 10月 13日～22日

高野 勉展『木版画』 11月 17日～26日

高松 潤一郎展『絵画』 12月 8日～17日

あるって くるぶ 組曲・間奏曲

高橋道弘

お々たかの唄、笠幡、三ッ木、中新田の森
h 12.4.2(日)21:00~22:00

鶴ヶ島市三ッ木と川越市笠幡を住いとする親と若鳥、
高徳神社や日高市下高萩新田、森戸新田、
中新田などを狩場に
王者お々たかは、人知られず自然を守っていた。

三ッ木の森の住いは、数年のうちになくなるという。
笠幡の森の住いも、武蔵野科学研究都市で消えるという。
都の北区では、お々たかの住みかを復活したいと
考えているというのに。

三ッ木と高徳神社では、すでに木が切られている。
元々3市境いは産廃などの不法投棄で荒らされている。
この春、涙を流して、この森をさまよった。

50年の老木を庭で切ったら、
苗木を10万本配布しても追いつかない。
お々たかの森をなぎはらったら、
ピオトープも無意味です。
お々たか親子から住いをうばったら、
ぼくらの心はきずつく。

ぼくらはお々たかと親子でも親類でもない、
しかし、人間、高麗に共に生きる仲間です。
お々たかが亡びた埼玉に、
すこやかな心で生きてはいけない。

あるって くるぶ コンサート

——これからのスケジュール——

♪<小澤一雄のアレグロ展 オープニングコンサート>
リコーダーの富山賢和さんの演奏があります。

★プロフィール

尚美音大卒、トランペットを山口進一郎氏、リコーダーを遠藤一巳氏に師事。トリオ・サラデムシカ同人として全国各地で演奏活動を行う。埼玉県入間郡大井町在住。

♪<越生里山コンサート>

お待たせしました。越生の里山コンサートの日程が決まりました！ <共催 越生町縁とせせらぎを守る会>

・7月23日(日) 午後3時より

・越生町虚空蔵尊境内にて

・演奏しの笛の小野さゆりさん 他

昨年とは違うメンバーを加え、何か面白いことを考えているようですよ。

・どなたでも無料ですが、カンパは歓迎します。

*季節的に傘のご用意をお忘れなく

♪<人形浄瑠璃 in 川越> 9月25日(月) 午後5時半

・昨年ギャラリートークでお目にかかった竹本文字久太夫さん達5人がいよいよ登場です。

「歳のまち 川越に文楽がやって来る！」

——武蔵野の面影が残る、料亭 山屋さんで文楽とお食事の夕べはいかがですか？(お食事付き・9000円)

ご予約受け付けます。

お問い合わせは

事務局・草野建築設計事務所 草野 03-3866-0245

405スタジオ 山本 0492-61-9077

チケットはもう少しで出来ます。

あるって くるぶ コンサート

——活動のご報告——

♪<バルーチャ美知子展オープニングコンサート>
4月13日(木) 夕方7時から、柴野さつきさんによるキーボードの演奏がありました。演奏曲目は藤枝守さん作曲『植物文様・第5集』、植物の葉の表面の電位変化のデータに基づき、そのデータが純正調やピタゴラス音律とよばれる古来の調律法によって様々な旋律に変換される『植物文様』シリーズの中の一つでした。サティ得意とするさつきさんらしく、繊細で多彩な響きに耳をかたむけながら、植物にみちびかれた旋律が静かな明るさを響かせているのを、わたし達は多いに楽しみました。



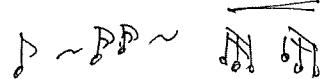
◆お知らせです

♪<飯泉昌宏トリオ+1>ライブをやりましょ～！

2月にソロギターとヴォーカルとのデュオでオープニングを飾っていただいた、飯泉さんはいつもはトリオやギターデュオで活動されています。ぜひ、川越でもドラムスを加えたパワフルな演奏をお願いしたいと思い、ただ今、川越で会場を探しています。あそこでやって下さい！ というお声をお待ちしています。また、お子さんのいるお母様方にも聞いていただきたいので、三番町ギャラリーで託児サービスをしたいと思います。そこで、保育ボランティアを担当してくださる方を募集します。もちろんポイントが付きます。

*6月初旬に会場の下見をしてまわる予定です。

お楽しみに～！





—活動のご報告—

■ 5月16日(火)～25日(木)

<第1回『川越を描くビエンナーレ』入選作品展>

「アルテクルブ」の作業メンバーは、会場レイアウト、表彰状作り、キャブション作り、15日の搬入、16日の会場当番、25日の搬出と、多忙な5月を過ごし、

21日に予定していました、岡本太郎美術館と日本民家園の見学会はお休みしてしまいました。もし、直接お出でになった方がいらしたらお詫びのしようもありません。

ビエンナーレ展は、絵画だけの地味な展示であったにもかかわらず、期間中4,000人ものたくさんの方がお見えになり、あらためて川越のポテンシャルティーの高さを感じました。

作品の内容は、やはり蔵造りの町並みを描いたものが多く見られましたが、なかには町屋の千本格子を描いたものや、町のなかに生き生きと生活する人の姿を描かれたものがあり、観光客のためだけではない、そこに生きる町の人達の生活の息づいている作品が多くみられました。また、埼玉都民を象徴する電車の線路と時の鐘のギャップを感じさせる風景などの新しい視点、周辺地域の豊かな自然環境、堰や建物などの近代化遺産、などが取り上げられていましたが、なかには抽象画やファンタスティックな表現もみられ、多彩な作品にからのビエンナーレ展の可能性を感じました。

参加して下さった会員の皆様、応援に駆けつけてくれた東洋大学工学部建築学科の学生の皆様ご苦労様でした。

■ <かつしかまちネット>のその後

「かつしかまちネット」は、98年度に葛飾区の呼びかけにより開催された、「葛飾区都市計画マスタープラン・まちかど勉強会」(ワークショップ4回、シンポジウム、展示会)の参加者の中から自発的に声があがり、これらの住民参加のまちづくりを目指して一緒に考えていくとしているグループです。「自らのまちは自らの手でつくる」というスタイルで、まちづくりに興味のある方はどなたでも参加できます。様々な(地域やまちづくりに関することを取り上げて)テーマを設定し、勉強会などの活動をしています。

<99年度の主な活動>

- 99.03.28 「葛飾区都市計画マスタープラン・まちかど勉強会」シンポジウム終了後、参加者有志がのこり、葛飾のまちづくりを引き続き考えて行く事を確認しました。
- 99.07.08 裏方会議・学習会講師料について区の支援が受けられる旨、都市計画課より紹介がありました。生涯学習課「地域に根ざした研究活動」
- 99.09.25 第1回勉強会「防災のまち」講師：中林一樹 東京都立大学教授 防災まちづくりの枠組み、トルコ地震、台湾地震の後でもあり、活発に質疑応答が行われました。
- 99.10.09 第2回「自転車のまち」講師：木下勇 千葉大学助教授、ワークショップを行いました
- 99.10.23 第3回「市街地の活性化」講師：日端康雄 慶應義塾大学教授
- 99.11.06 第4回「川とかつしかを考える」 講師：島正之千葉工業大学助教授
- 99.11.27 第5回「生き生き住み・働きつづけるまちかつしかを考える」講師：中林一樹(同上)
- 99.12.22 学習会「荒川を考える」講師：島さん
- 00.03.24 学習会「環境とまちづくり」講師：小澤さん
- 00.04.28 学習会「地域マネー」講師：丸山さん
- 00.05.27 「まちネット」正式に発足。総会・祝賀会

—これからのスケジュール—

□会場担当ボランティアを募集しています！

「あるって くるぶ」はボランティアが自主的に参加して、様々な芸術活動やまちづくり運動を支援している会です。アートサポーターとして、ご参加頂ける方を募集しています。

6月23日(金) 前半12時～4時、後半4時～7時

24日(土) 前半12時～4時、後半4時～7時

25日(日) 前半12時～4時、後半4時～7時

30日(金) 前半12時～4時、後半4時～7時

7月 1日(土) 前半12時～4時、後半4時～7時

2日(日) 前半12時～4時、後半4時～7時

*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方には薄謝の他、ポイントを差し上げたいと思います。年末のプレゼントをお楽しみに！

*また、その他にも様々な提案をお待ちしています。参加を希望される方は草野までご連絡下さい。

□今年の自然探訪

—奥武藏高原にブナの原生林を訪ねて

・日時 6月25日(日) 10時

・名栗村名郷バス停集合

・大持山からウノタワの尾根にブナがたくさんあるそうです。新緑の気節は過ぎましたが、緑したたるブナ林を満喫しましょう！

・雨の場合は、付近の植物観察と温泉、おそば、ビール。

・参加をご希望される方は草野まで 090-3699-0936

□「越生町・緑とせせらぎを守る会」では、動植物の調査ボランティアを募集しています。

・三番町ギャラリーでのパラソルショップは7月2日
越生の元気な野菜を販売します。

⑤田植えしてみませんか？ 期間6月初旬～20日頃
お問い合わせは事務局の俵木さんまで

入間郡越生町上野92 俵木栄一 ℡ 0492-92-2717

□川崎市岡本太郎美術館と日本民家園 見学会(再び)

日時 7月1日(土) 担当・塩野

当日の連絡先は草野 090-3699-0936

集合場所 美術館前に午前11時

住所 川崎市多摩区桙形7-1-3

電話 044-900-9898

・企画展 岡本太郎と鬼っ子たち 一万歳7唱一
アラカリシウツク、イカダタツオ、キタデイショウゾウ、シバラウシオ、ヨコタグリ、
ヤマグチマサヒロ、ムラカミヨシオ

・設計 久米設計 日経アーキテクチュア'99 12-13号

□今年の自然探訪・夏休み企画

荒川とトンボ公園・自然観察とスケッチ(埼玉県寄居)

小学生以上は子どもだけの参加も受け付けます。ご相談下さい。(担当・高橋) 8月6日(日) はいかがでしょうか？

□今年の建築見学会一日程が決まりしだいお知らせします
自由学園明日館見学(現在改築中です) 担当・羽生さん

設計: フランク・ロイド・ライト

～羽生さんまだでしょうか？

□今年のまち歩き一日程が決まりましたらお知らせします
足利 まち・アート見て歩き(桐生有隣館も)

佐倉美術館めぐり(川村美術館など) 10月(塩野)

本郷 まち再発見・見て歩き(真砂町住宅を考える)

佐原 歴史の町並み見て歩き

(水運のまち、伊能忠敬記念館、小堀屋さんの菴麦)

狹山市 鎌倉街道と東山道を歩く・旅人の井戸を訪ねて
お問い合わせは みなさまの雑用係り 草野まで

里山 しの笛コンサート

恒例になりました
やまなみ応援団来る！



まちづくりはやまづくりから、という視点で、川越において自主的に芸術活動とまちづくり運動を企画、運営、支援するボランティアグループ「アルテ クルブ」の協力により、今年も虚空蔵様で小野さゆりさんが、しの笛を吹いて下さることになりました。なにやら、面白いことを考えているようですよ！

期日・2000年 7月23日（日）

・どなたでも無料ですがカンパは歓迎です

開演・3:00 pm

会場・越生町 虚空蔵尊境内

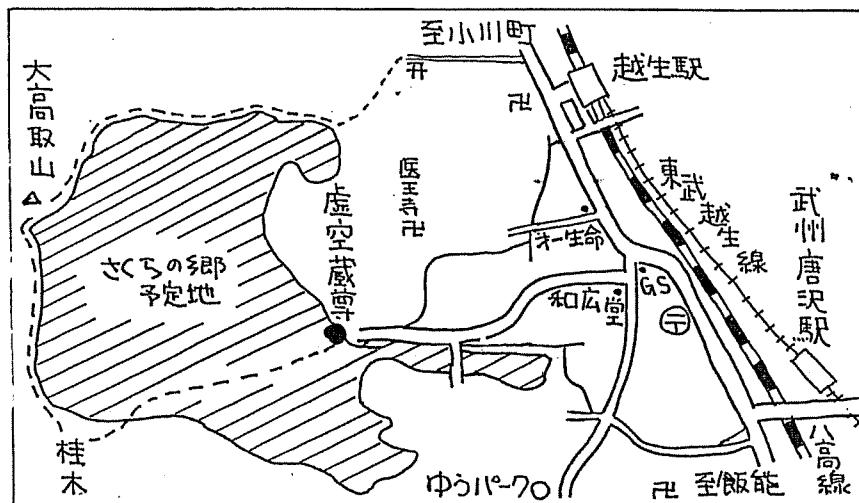
演奏・小野さゆり 宮武花野子 林直人 右城真

曲目・竹の踊り 浜辺の歌 笛吹き童子 など

～小野さゆりプロフィール～

東京都出身。幼少から民族音楽、伝統音楽に親しむ。祖父近藤礼に、宝生流の謡曲仕舞の稽古を受ける。上杉紅童にリコーダー、オカリナ等を師事。寶山左衛門にしの笛を師事。高校時代に全日本リコーダーコンテスト金賞受賞。青山学院大学卒業後、各地でしの笛を中心とした演奏、作曲、講演活動を行う。

笛の会風韻主催。NHK文化センター、よみうり日本テレビ文化センター講師。



主 催 越生縁とせせらぎを守る会、アルテ クルブ

お問い合わせ 越生縁とせせらぎを守る会 事務局 傑木 栄一 0492-92-2717

アルテ クルブ 事務局 草野 律子 03-3866-0245